

平成30年度自己評価についてのまとめ

各保育士による自己評価を3段階で評価し、各項目の合計を大項目単位でその割合を表記しました。

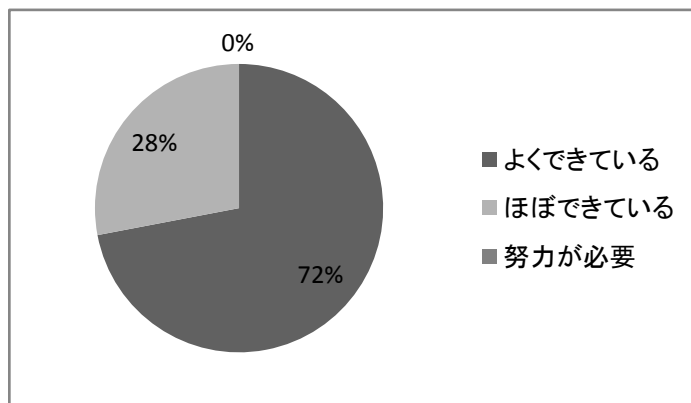
※人権に関する項目は「人権セルチェック」(全国保育士会)にて実施しているため本評価項目より除いています。

保育士

①保育理念・保育観

9人中

1-1	私たちの保育が、子どもの生涯の基礎を培う極めて大切な役割を担っている認識していますか？
1-2	今日の保育園には、入園している子どもの保育だけでなく、地域の子育てを支援をする社会的役割があることを認識していますか？
1-3	個人情報の保護に考慮し、子どもやその家庭についての秘密を正当な理由なく漏らすことがないようにしていますか？
1-4	育児の考え方について、保護者とあなたとが食い違っているとき、まず相手の気持ちを受け止め、話し合い、その保護者の立場や考え方を理解するよう努めていますか？
1-5	子どもと一緒に思いきり体を動かして遊ぶことの重要性を理解し、ともに楽しんでいますか？
1-6	一人ひとりの子どもに目が行き届いていたか振り返り、これからの保育の課題を見つけることができていますか？

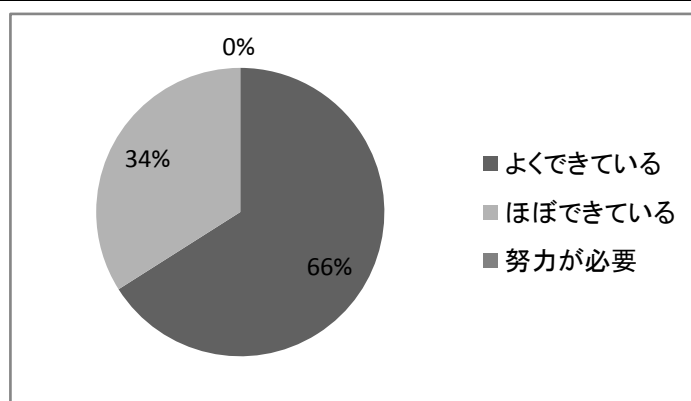


施設としてのまとめ

- ・ 保育の理念に沿って、子どもの育ちを通して保護者の心配や、園に対する期待にも配慮した。
- ・ 子ども、保護者、保育者が一方的ではなく、相対的な関係となれるように日々心掛けた。
- ・ また今年度は、カリキュラムの書き方の見直しをすることで、子ども一人ひとりの育ちを見守り、それに伴い保護者の気持ちにも寄り添うことが本当に大切と感じながら保育を行った。

②保育内容

2-1	月・週・日案などが、子どもの意欲を誘う環境構成など工夫されていますか？
2-2	担当制であるものの共に活動していくうえで保育士間でよく話し合いながら月・週・日案などをたてていますか？
2-3	月・週・日案などが、実際の子どもの姿、興味・関心に合っていたかという視点から保育を評価・反省していますか？
2-4	絵本を見せながら、その子の指すものに答えたり、やさしい言葉を添えたりして、自らもそのやりとりを楽しむことができますか？
2-5	大勢の子どもを保育するときでも、あなたを独占したがるその子の気持ちも十分に満たすなど、子どもの背景に配慮しながら、個別対応の努力や工夫ができていますか？
2-6	散歩の時、保育者も一緒に楽しみながら、花や葉、虫や動物などを見つけたりして、子どもとともに自然物や動物への興味・関心をもつことを大切にしていますか？
2-7	子どもと会話するときに、その子の目線に合わせて話をゆっくり聞いて、子どもの話したい気持ちや伝わった喜びを共感していますか？
2-8	歌を歌ったり、リズムに乗って体を動かす時、あなたは歌や動きを子どもに合わせ、一緒に楽しむことができますか？
2-9	自分の思い通りにならず、怒ったり、泣いたりする子どもに対して、丁寧に話して聞かせたり、気持ちを切り替える時間をとり、ゆったりと待つことができますか？
2-10	園が行ってきた「行事」について、その意味について考え、伝承行事を体験させたり、季節感を大切にし情緒豊かな経験をさせていますか？
2-11	子ども達にとって日頃の保育の積み重ねを生かし、皆が楽しめるように「行事」を工夫していますか？

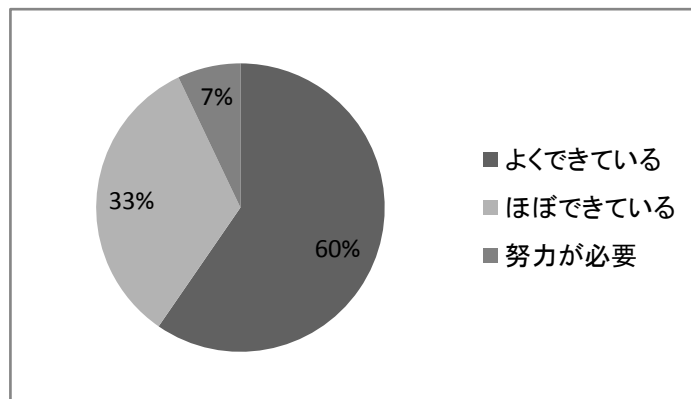


施設としてのまとめ

- 普段の保育の中で、子どもが興味を持って様々な経験ができるような環境づくりを心掛け、保育士の一方的な働きかけではなく、子どもの興味、発見、気づき、共感すること、子供が目を輝かせて集中したり、「なにをするの?」「やりたい!」という気持ちを引き出していくことを大切にしている。
- カリキュラムの中では、子どもの姿や評価を大切に、一人ひとりの育ちの記録を大切に考えた。
- 園外散歩において季節感を味わい、自然物にたくさん出会える機会を多く取り入れている。また、地域の方々との出会いがあり、花や野菜、動物に触れることもできている。
- 行事では、無理のない計画の中で伝統や季節感を伝えている。

③保健活動・安全管理

3-1	子ども一人ひとりの体調をしっかり把握し、活動や食事の量等への配慮をしていますか？
3-2	日頃より事故が起こらないように、あなたの保育室内外の安全点検を毎日怠らないように努めていますか？
3-3	不審者が侵入した場合に備えて、子どもの安全を確保するための対応策を日頃から心がけ保育にあたっていますか？

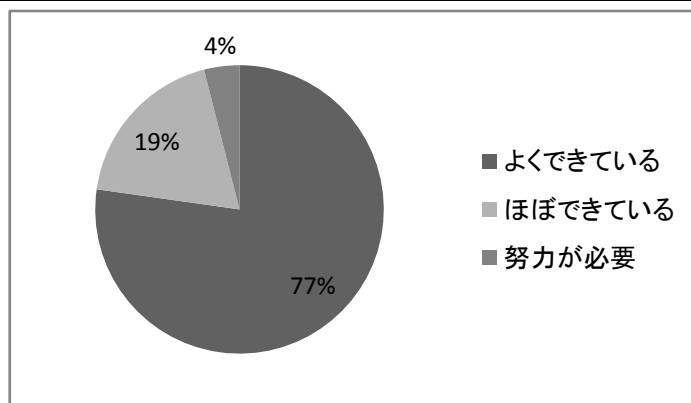


施設としてのまとめ

- 子ども一人ひとりの体調変化、家庭からの連絡、けがの確認等を大切に考え、家庭での生活リズムの変化等についても連絡帳及び口頭での確認作業は怠ることなく行われている。
- 保育の内容が子ども体調を軽視したものになってはならないと考えている。
- 幸いにして大きな事故はなかったが、保育室、玩具の整頓、衛生を徹底し、安全点検、ヒヤリハットを通して危険箇所がないようより一層安全を意識した保育にあたる。
- 防犯対策について、年二回の防犯訓練を行ったり、柵、施錠の徹底、防犯カメラでの監視、園外散歩では、周りに注意を払い常に危機管理を持ち保育にあたっている。今後、ハード面含めて整備を図る。

④保護者・地域社会との連携

4-1	コミュニケーションにおいて、園での様子を伝え、家庭での様子を聞くなかで、子どもの育ちを保護者とともに、共感し合うことができますか？
4-2	その日の子どもの健康状態や興味をもった遊びなど、必要に応じてお迎え時に保護者に丁寧に伝えるように努めていますか？
4-3	散歩や行事などで、子ども達が地域の人々と触れ合う機会をもつようにするとともに、気持ちよく挨拶をかわしていますか？
4-4	散歩や行事などで、子ども達が地域の人々と触れ合う機会をもつようにするとともに、気持ちよく挨拶をかわしていますか？
4-5	一時保育にあたり保護者の事情等の子どもも背景を十分に考慮しつつ受け入れるとともに、子どもの不安な気持ちを考え、柔軟な姿勢をもつことができますか？
4-6	園が発信元となり、地域の子育て支援という役割や地域の交流の機能を担っていることを理解していますか？

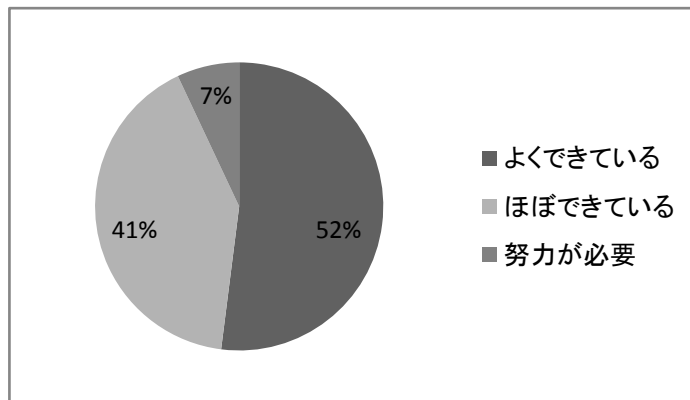


施設としてのまとめ

- ・ 連絡帳の利用は大切なものと考え、より分かりやすく興味深く見てもらえるもの、成長の記録とも考えながら行っている。伝言は、連絡ノートに記入し必ず保護者に連絡漏れがないように注意している。
- ・ 保護者が安心して気持ちよく利用できるよう、全職員が子ども一人ひとりの様子を把握し、声掛けを行うよう心掛けている。また、保護者からの質問に適切かつ、丁寧に対応できるように職員会議での検討や自己研鑽による保護者対応を行っている。また、外国人の保護者に対しても絵や写真、ジェスチャーを含め、理解してもらえるようにしてきた。
- ・ 地域への積極的な参加、働きかけは今後の課題となるが、連携園、近隣の保育園との交流、園外散歩での地域の人との出会い、挨拶を積極的に行い、子どもたちも保育士の真似をし、挨拶ができるようになり、日常的に自然な親交を深めている。なお、今後、地域支援事業の拡充を図る。

⑤保育士としての資質向上(研修・研究活動)

5-1	その日の子ども一人ひとりの活動や姿をしっかり記録に留めることはできますか？
5-2	研修で得た内容や伝えたいことを他の職員に説明したり、意見交換したり保育の実践に役立てることができていますか？
5-3	保育する中で疑問や不安なことを他の職員や園長に相談したり、自ら専門書等で学んだりすることができていますか？



施設としてのまとめ

- ・ 子どもの育ちの記録の書き方について園内研修を行い、成長や子どもの発信を見逃さないよう、視点、気付きを大切にしている。
- ・ 保育士一人ひとりのアイデア、工夫を活かした保育を実践。また、お互いを評価したり、話し合い、協力によってよりよい保育が展開されるように努力している。
- ・ それぞれの得手、不得手を踏まえ、自己目標を立て、研修、報告、実践、評価を行い、向上心を持ち保育に努めている。

総評

特に大きな事故やけがもなく全職員が一丸となって取り組むことができた。特に今年度は、保育指針の改訂による計画の再構築もあり、学習しながらのスタートとなった。今後も子どもたちの育みを連続性を持ち、評価、策定へつなげていきたい。また、施設及び職員個々の課題も見えており、ぜひ改善へ向け来年度へつなげたい。